



センターの概要

障がい者の芸術文化活動サポートをする人たちへの支援や、関係者とのネットワークづくりを行うとともに、芸術文化活動を発表する機会を提供することにより、障がい者の自立と社会参加を促進し、障がいの有無にかかわらず、人々がお互いを尊重しながら共生する社会の実現に取り組むことを目的としています。

芸術・文化活動に関する
ご相談を受け付けています。

例えば

- 自分の作品を発表したいのですがどこか良い場所がありますか?
- アート活動を行っている事業所を教えてください。
- アート活動を施設で始めたいのですが、何から始めたら良いですか?
- 作者の絵画作品の一部を拡大して事業所のパンフレット等に使用することはできますか?
- アート活動を始めたいので指導者を紹介してほしい。
- 作品を商品化するために企業を紹介してほしい。 など

徳島県 障がい者芸術・文化活動支援センター

770-0005 徳島市南矢三町2丁目1-59
 徳島県立障がい者交流プラザ1階
 TEL. 088-631-1200 / FAX. 088-631-1300
 URL. <http://kouryu-plaza.jp/gb-center>
 E-mail. t-geibun@kouryu-plaza.jp
 ●受付時間 / 9:00~17:00 ●休業日 / 12月29日~1月3日



交通アクセス

- JR四国 JR蔵本駅下車 → 徒歩約15分
JR佐古駅下車 → 徒歩約15分
- 徳島バス (JR徳島駅・バスターミナル乗車)
中央循環線バス (右回り・左回り)
「科学技術高校前」で下車 (所要約30分) 徒歩約1分
島田石橋線・市原線
「科学技術高校前」で下車 (所要約30分) 徒歩約1分

徳島県 障がい者芸術・文化活動支援センター



「芸術はわれわれが用意した寝床に身を横たえに来たりはしない。芸術は、その名を口にしたらとたん逃げ去ってしまうもので、匿名であることを好む。芸術の最良の瞬間は、その名を忘れたときである。」
 フランスの画家 ジャン・デュヴニエフ Jean Duvigneuf 1901-1985

生の芸術

VOICE

2019年3月15日 障害者支援施設訪問
参加者アンケートより

アートと言っても簡単ではないこと。その人の思いがどうなのか? ということが一番大切だと感じた。

それぞれの事業所の実践や思想を伺って大変勉強になったし参考になった。現場に帰り、頑張ろうという意識も再認識できた。

本人の思いにどう気づくか、という形で今やっていることを続けていくなか悩んでいましたが、糸口が見えた気がします。

「それぞれの、その人の時間の物差しを大切にすること」の言葉が心に残った。

障害者本人が、本当にしたいことを自由にしていくことの大切さ。支援者は、イエスを出し続けることで、障害者の自己肯定感に繋がっていくことを学びました。

障がい者芸術・文化活動支援の拠点として、「支える」「育てる」「繋がる」「発表する」「広める」の5つの柱を基本に、研修会や展示会等を実施し、障がい者による芸術・文化活動の裾野の拡大と、障がい者による芸術の素晴らしさを広く県民にPRします。



1 支える

外部の専門家や他県の支援センターと連携し、芸術・文化活動のさまざまな疑問にお応えします。

2 育てる

芸術・文化活動を支援する家族や施設等を対象に障がい者の芸術・文化活動を支援するための研修会を開催します。

3 繋がる

県内の障がい者施設、特別支援学校等関係機関が連携し、情報共有・情報交換することにより、障がい者の芸術・文化活動支援を一層推進します。

4 発表する

研修やネットワーク作りで生まれた作品の展示会を開催します。

5 広める

展示会・イベントや研修会等の情報を収集し、発信します。

